

(6) 災害リスクの高い地区の課題抽出

1) 小学校区別の課題抽出

ハザード情報と都市情報の重ね合わせによる「(5) 災害リスクの高い地区・施設の検証内容」を踏まえ、各小学校区における災害リスクを整理した表が以下のとおりです。

その結果を踏まえ、災害リスクの高い地区における課題を整理します。

なお、重ね合わせ項目の内、「土砂災害（特別）警戒区域×医療施設」、「土砂災害（特別）警戒区域×広域避難所・指定緊急避難場所・指定避難所」、「浸水想定区域（想定最大規模）×アンダーパス」、「土砂災害（特別）警戒区域×緊急輸送道路」については、各小学校区で該当が無かったため、課題としては記載しません。

表 災害リスクの高い地区【小学校別】

災害リスク分析	重ね合わせ項目	小学校区				
		精北	川西	精華台	東光	山田荘
(1) 機能不全のおそれの有無	1) 浸水想定区域（想定最大規模）×医療施設【課題1】	▲	▲	○	○	○
	2) 土砂災害（特別）警戒区域×医療施設	○	○	○	○	○
	3) 浸水想定区域（想定最大規模）×広域避難所・指定緊急避難場所・指定避難所【課題2】	▲	▲	○	○	○
	4) 土砂災害（特別）警戒区域×広域避難所・指定緊急避難場所・指定避難所	○	○	○	○	○
(2) 建物倒壊のおそれの有無	1) 土砂災害（特別）警戒区域×建物用途【課題3】	▲	▲	▲	▲	▲
	2) 家屋倒壊等氾濫想定区域（想定最大規模_氾濫流）×建物構造【課題4】	▲	▲	○	○	○
	3) 家屋倒壊等氾濫想定区域（想定最大規模_河岸侵食）×建物用途【課題5】	▲	▲	○	○	▲
(3) 垂直避難の可否	1) 浸水想定区域（想定最大規模）×建物階数【課題6】	▲	▲	○	○	▲
	2) 浸水想定区域（ため池）×建物階数【課題6】	▲	▲	▲	▲	○
	3) 浸水想定区域（想定最大規模）×要配慮者利用施設【課題7】	▲	▲	○	○	▲
(4) 避難経路の可否	1) 浸水想定区域（想定最大規模）×アンダーパス	○	○	○	○	○
	2) 土砂災害（特別）警戒区域×緊急輸送道路	○	○	○	○	○

※「▲」・・・ハザード情報と都市情報を重ね合わせ、各小学校区内に災害リスクが内在している可能性が確認できた項目

「○」・・・ハザード情報と都市情報を重ね合わせ、各小学校区内に災害リスクが内在している可能性が確認できなかった項目

各課題の概要と災害リスクの高い地区の関係を下表に整理します。

























表 各課題の概要と災害リスクの高い地区【小学校別】

課題整理	課題概要	小学校区				
		精北	川西	精華台	東光	山田荘
課題 1	最大想定規模の降雨に伴う浸水によって、機能低下する可能性が高い医療施設	▲	▲	○	○	○
課題 2	最大想定規模の降雨に伴う浸水によって、指定緊急避難場所等の利用に支障が出る可能性が高い地区	▲	▲	○	○	○
課題 3	土砂災害の危険性が高まる前に避難を実施しなければ人的な被害が発生する可能性が高い地区	▲	▲	▲	▲	▲
課題 4	最大想定規模の降雨に伴う氾濫流及び河岸侵食の発生時に建物が被害を受ける可能性が高い地区	▲	▲	○	○	○
課題 5		▲	▲	○	○	▲
課題 6	最大想定規模の降雨に伴う洪水発生もしくはため池の決壊に際して水位上昇前に避難を実施しなければ人的な被害が発生する可能性が高い地区	▲	▲	▲	▲	▲
課題 7	最大想定規模の降雨に伴う洪水発生に際して要配慮者利用施設で垂直避難が困難となる可能性が高い施設	▲	▲	○	○	▲

※「▲」・・・ハザード情報と都市情報を重ね合わせ、各小学校区内に災害リスクが内在している可能性が確認できた項目

「○」・・・ハザード情報と都市情報を重ね合わせ、各小学校区内に災害リスクが内在している可能性が確認できなかった項目

ハザード情報と都市情報を重ね合わせ、小学校別に各課題を図化する際の凡例は以下のとおりです。

凡例			
	市街化区域		1階建て(住居系)
	小学校区		建物(河岸侵食内)
	広域避難場所		都市機能誘導区域(案)
	指定緊急避難場所		居住誘導区域(案)
	指定避難所		土砂災害警戒区域
	福祉施設		土砂災害特別警戒区域
	医療施設		浸水想定区域(ため池3.0m以上)
	学校		家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)
	町役場等		家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)
			浸水深3.0m以上(想定最大規模)
			浸水深0.5m-3.0m未満(想定最大規模)
			JR学研都市線
			近鉄京都線
			京奈和自動車道
			国府道

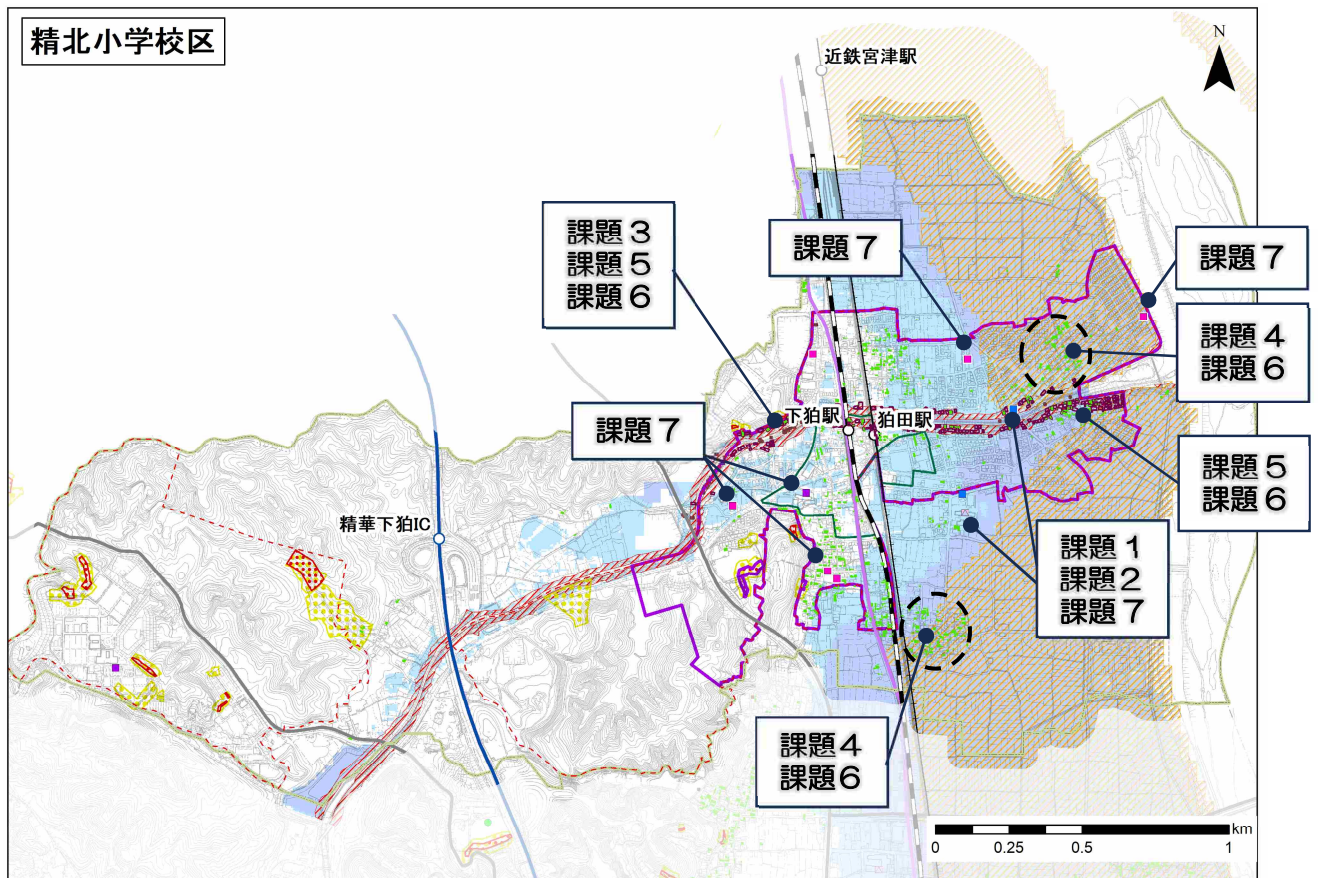


図 災害リスクの高い地区の課題抽出（精北小学校区）

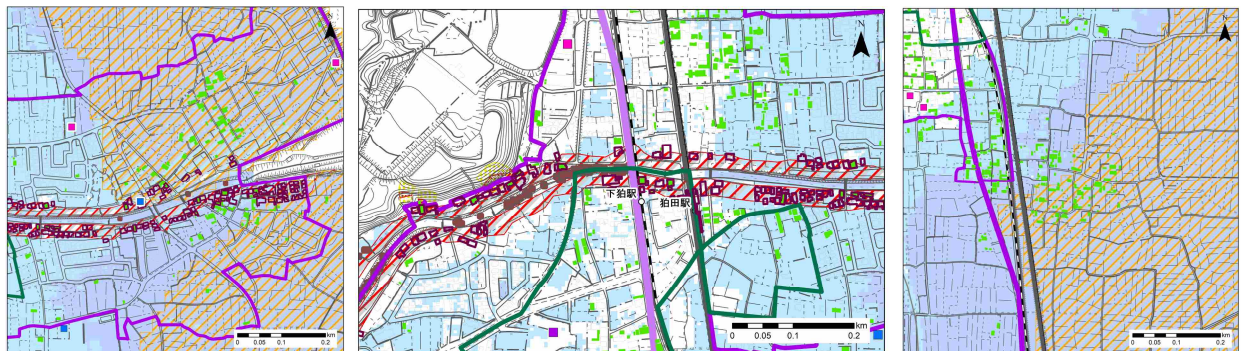


図 災害リスクの高い地区の課題抽出（精北小学校区_拡大版）

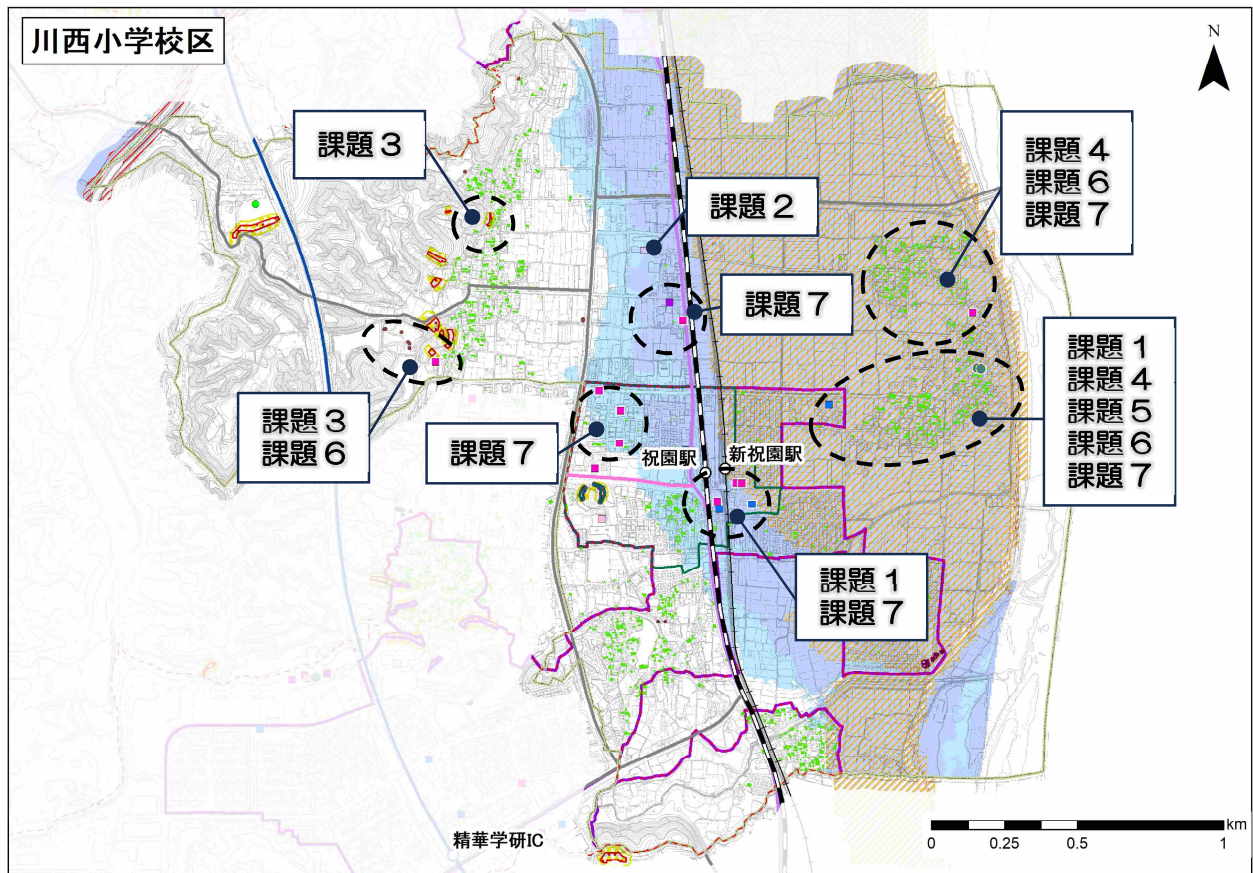


図 災害リスクの高い地区の課題抽出（川西小学校区）

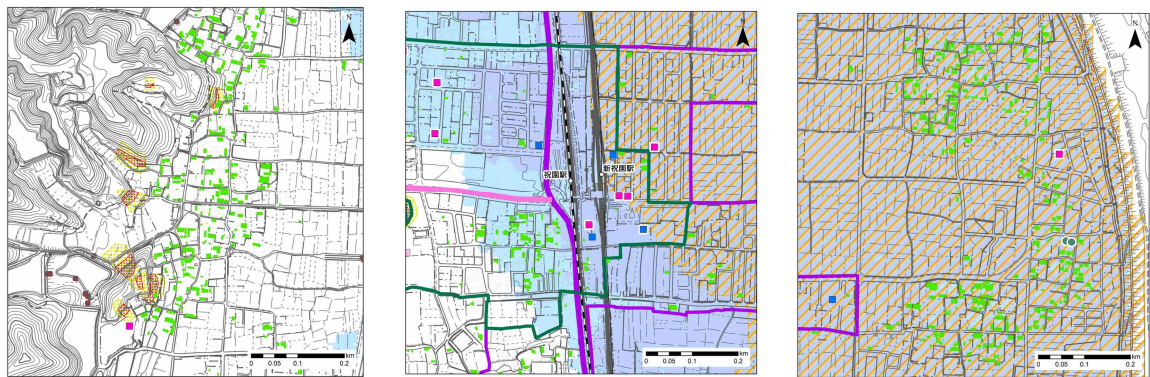


図 災害リスクの高い地区の課題抽出（川西小学校区_拡大版）

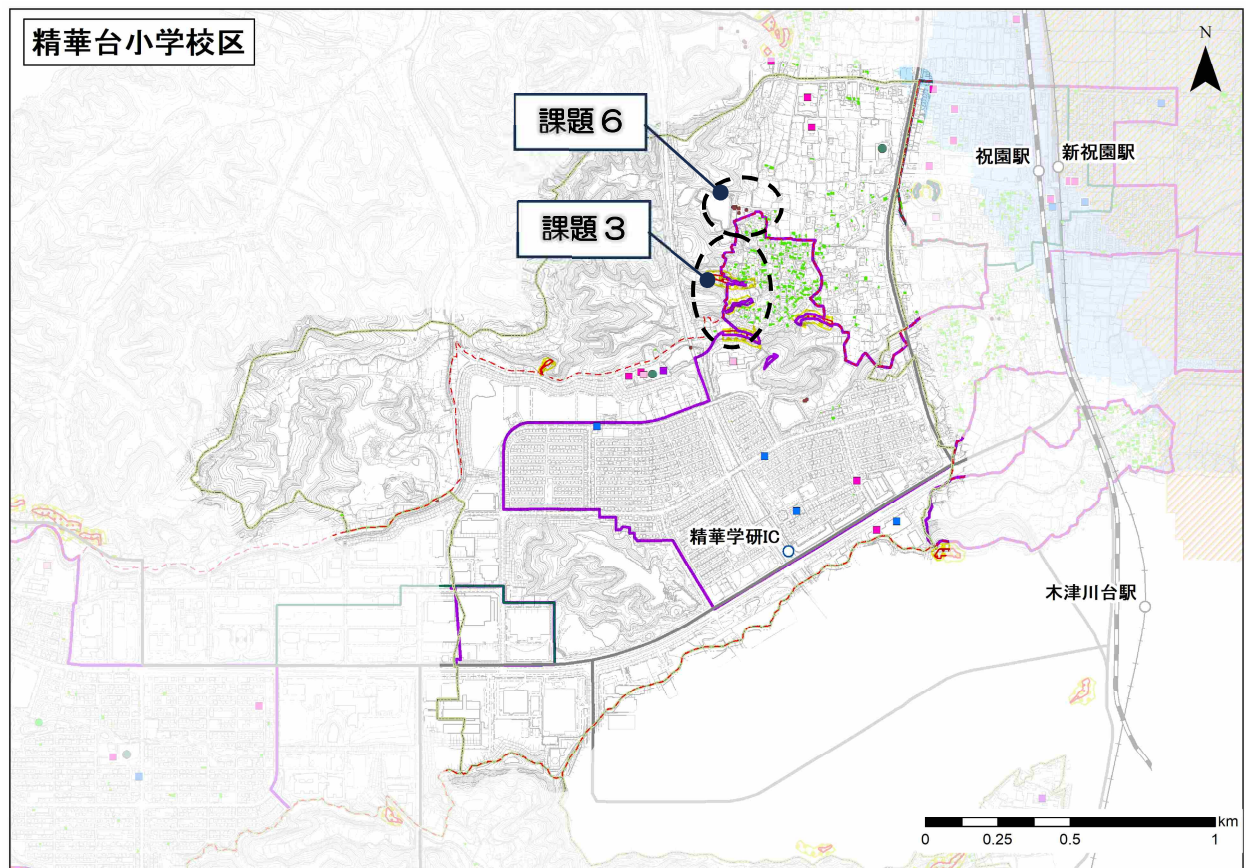


図 災害リスクの高い地区の課題抽出（精華台小学校区）

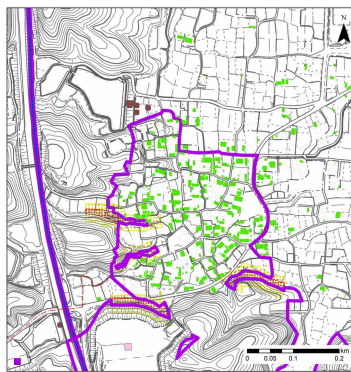


図 災害リスクの高い地区の課題抽出
（精華台小学校区_拡大版）

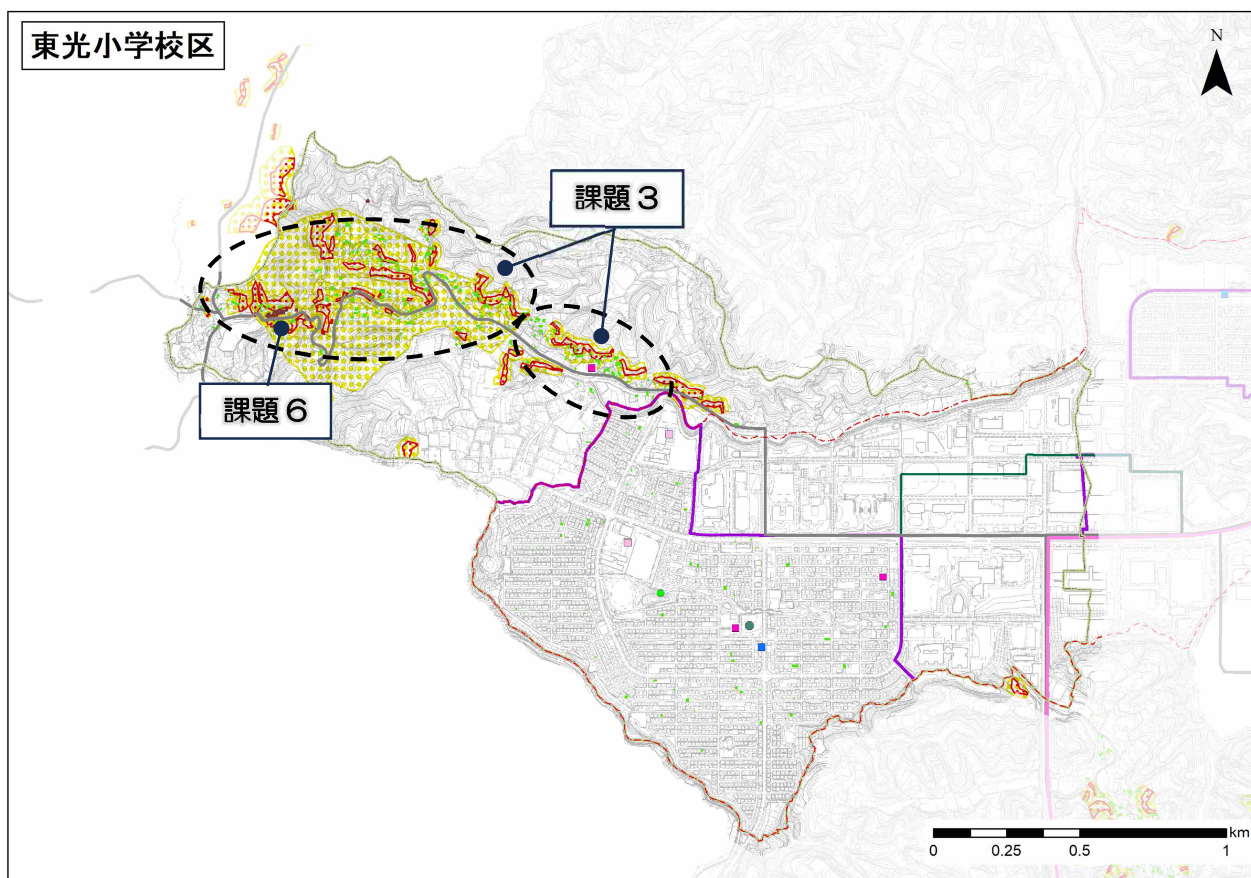


図 災害リスクの高い地区の課題抽出（東光小学校区）

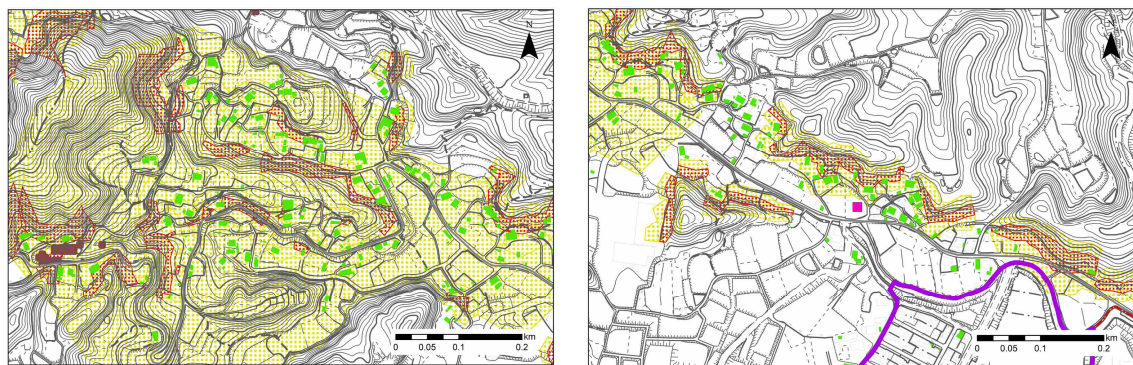


図 災害リスクの高い地区の課題抽出（東光小学校区_拡大版）

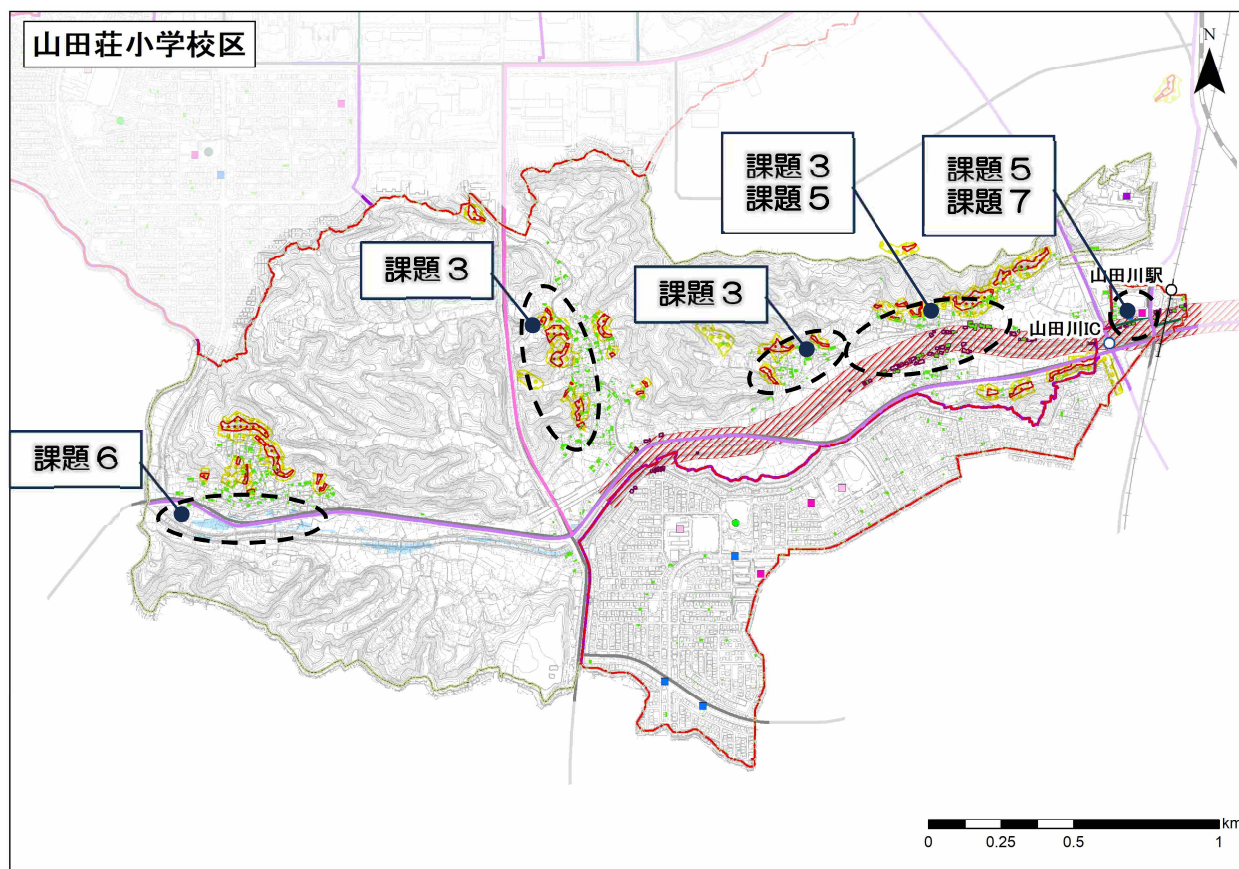


図 災害リスクの高い地区の課題抽出（山田荘小学校区）

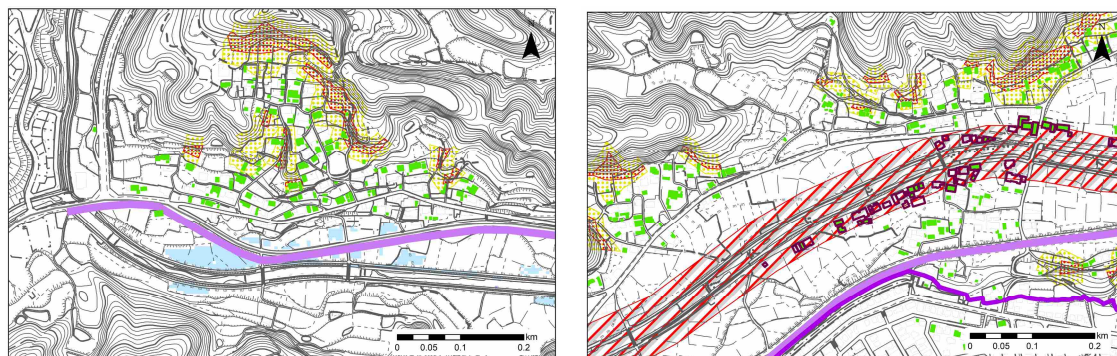


図 災害リスクの高い地区の課題抽出（山田荘小学校区_拡大版）

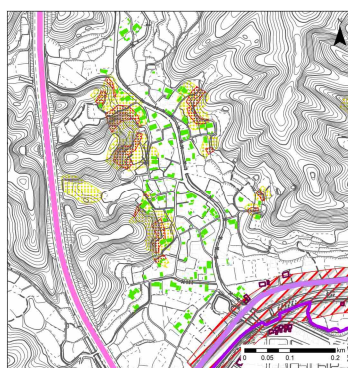


図 災害リスクの高い地区の課題抽出
（山田荘小学校区_拡大版）

2) 災害リスクの高い地区を踏まえた居住誘導区域のあり方

「(1) 災害ハザード情報の収集・整理」で示したように、レッドゾーン（土砂災害特別警戒区域等）は居住誘導区域から除外しますが、ハザード情報と都市情報の重ね合わせによる災害リスク分析の結果から、前章で設定した居住誘導区域内にも水害リスク等が内在することが確認されました。この結果を踏まえ、各課題における居住誘導区域のあり方を以下に示します。

課題1：浸水想定区域（想定最大規模）×医療施設

【課題概要】最大想定規模の降雨に伴う浸水によって、機能低下する可能性が高い医療施設



【あり方】

災害時においても機能低下に陥らないよう、水・電気等のライフライン機能を各施設で確保できる体制を整えることで災害リスクの軽減を図れることが想定されるため、居住誘導区域からの除外を行いません。

課題2：浸水想定区域（想定最大規模）×広域避難場所・指定緊急避難場所・指定避難所

【課題概要】最大想定規模の降雨に伴う浸水によって、指定緊急避難場所等の利用に支障が出る可能性が高い地区



【あり方】

行政が管理する土地・施設で指定緊急避難所等の確保が困難な場合は、民間事業者等が所有する土地・施設を新たに指定できるよう、協定締結を検討するなど、適宜民間業者等との共助を行うことで災害リスクの軽減を図れることが想定されるため、居住誘導区域からの除外を行いません。

課題3：土砂災害（特別）警戒区域×建物用途

【課題概要】土砂災害の危険性が高まる前に避難を実施しなければ人的な被害の可能性が高い地区



【あり方】

事前に気象庁等から災害時に住民がとるべき行動として警戒レベルが発表されるなど、土砂災害が発生するまでにリードタイムがあることが多く、適切な防災情報を提供することで災害リスクの軽減を図れることが想定されるため、居住誘導区域からの除外を行いません。なお、土砂災害特別警戒区域については、レッドゾーンであるため、居住誘導区域から除外します。

課題 4：家屋倒壊等氾濫想定区域（想定最大規模_氾濫流）×建物構造

【課題概要】 最大想定規模の降雨に伴う氾濫流の発生時に建物が被害を受ける可能性が高い地区



【あり方】

河川堤防の決壊又は洪水氾濫流により、木造家屋が倒壊する恐れがあり、人命を守ることが困難なため、居住誘導区域から除外します。

ただし、一定の災害リスクはあるものの、一部地域については居住誘導区域に準じた市街地整備等を検討するとともに、災害対策等の状況を踏まえ、積極的に新たな居住誘導区域への追加を検討する「準居住誘導区域」として定めます。

課題 5：家屋倒壊等氾濫想定区域（想定最大規模_河岸侵食）×建物構造

【課題概要】 最大想定規模の降雨に伴う河岸侵食の発生時に建物が被害を受ける可能性が高い地区



【あり方】

洪水時の河岸侵食により、建物構造に関わらず、倒壊する恐れがあり、人命を守ることが困難なため、居住誘導区域から除外します。

課題 6：浸水想定区域（想定最大規模）×建物階数

浸水想定区域（ため池）×建物階数

【課題概要】 最大想定規模の降雨に伴う洪水発生もしくはため池の決壊に際して水位上昇前に避難を実施しないと人的な被害の可能性が高い地区



【あり方】

降雨やため池等の決壊による水害リスクが内在することを前提に人命を守るためのソフト対策を中心としつつ、適宜ハード対策を講じることで災害リスクの軽減を図れることが想定されるため、居住誘導区域からの除外を行いません。

課題 7：浸水想定区域（想定最大規模）×要配慮者利用施設

【課題概要】 最大想定規模の降雨に伴う洪水発生に際して要配慮者利用施設で垂直避難が困難となる可能性が高い施設



【あり方】

浸水想定区域内の要配慮者利用施設は避難確保計画の策定及び避難訓練が義務化され、垂直避難以外での避難手段も計画・訓練することで災害リスクの軽減を図れることが想定されるため、居住誘導区域からの除外を行いません。